

ア ン ダ ン テ 新 聞

第22号

2014.1.27 発行

〒080-0027

帯広市西17条南3丁目

24番24号

社会福祉法人 光寿会

介護老人保健施設

ケアステーションアンドンテ

TEL 0155-58-6500

FAX 0155-58-6501

http://koujyukai.org

E-mail

info-andante@koujyukai.org

理事長より新年の ご挨拶

あけましておめでとようございませす。

平成二十五年度事業計画の理事長抱負において「本年度をつなぐの二〇一三年」と題しました。なぜ、つながりが必要なのか？いうまでもなく、私たちの生活は、有形・無形のラインにつながっているからこそ成立するものです。電気・水道・ガスのライフライン、道路・鉄道・空の物流ライン、電信電話回線とインターネット回線などの情報ライン。この中の一つでも欠ければ非常に不便な生活を強いられることとなります。介護施設に置き換えるならば、「つながり」のない状態は、「独りよがり」の介護」「不透明な処遇」に陥り、いずれ地域の中で孤立し枯れ行く運命にあると思います。

もつとくだけで表現すると近所との日頃からのお付き合いが大切だということ。地域と向き合うことで、自分たちの施設で行っているサービスのレベルを知らされるといふことです。防災・美化・老人クラブなどの地元町内会活動を通じて地域社会とつながり、施設内行事あるいは年2回の学習療法家族交流会を通じてご家族とつながり、北海道学習療法研究会を通じて他施設とつながることを活動方針としました。「連携」「協働」「共生」などいろんな表現はありますが、地域に開かれた施設運営を為すには、常に自己のプレゼンス（存在）をアピールできる「勇氣」と辛口の意見や根拠のないうわさにも冷静に対応できる「謙虚さ」と「賢さ」が必要です。担当された職員の努力には深く感謝しています。また、「ひかり・アンドンテ・アルペジオ3施設」と「げんき・つばさ・光寿会通所リハ・アンドンテ通所リハ・ホワイエ・シルバークウイングの6事業所」が、法人内において



理事長 森 光弘

も「つながる」という活動を進めてきました。その結果、「アンドンテ」が平成二十五年十月より在宅復帰加算を取得することができました。また、「ひかり」の平均入所者（ショート利用者含み）数が平成二十四年度平均92.9名から平成二十五年度四月〜十二月期において平均96.2名に増加しました。さらに人事考課的にも、一般職・管理職の横のつながりが機能し、職員のイベントへの参加率の増加と退職者の減少があります。「馬年」の今年は、法人開設満十七年を迎えます。私たち光寿会には、「ひとりひとりに光を当て、その人がその人らしく最後まで輝けるように支援する」という理念があります。馬年にちなみ、本年は、「スピード」と「たくましさ」をモットーに努力する所存でございますので、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に、利用者様並びにご家族様、そして光寿会職員の皆様とご家族様のご健勝とご多幸を深く祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

援護事業功労者表彰式典

当施設ご入所者様の及川不二夫様が、厚生労働大臣より「援護事業功労者」として表彰されました。東京での表彰式に出席できませんでしたが、ささやかではあります。アンドンテで式典を執り行いました。及川様は、太平洋戦争で徴兵され、多くの戦友を亡くされました。長年にわたりその戦友たちのご家族を慰め、英霊の慰霊碑を建立することに尽力されたため、今回受賞されました。

当日は、十勝毎日新聞社の記者がこられ、取材をしてくださいました。及川様の「戦争は絶対にしてはならない」という力強いお言葉が、私たちの胸に深く残り、それをしっかりと受け止めさせていただきますました。及川様、本当におめでとようございました！



及川不二夫様 援護事業功労者 表彰式



第5回

ドクター・吉田こらむ

炎症による痛みは、組織障害が修復されれば炎症は収まり、痛みもなくなります。

まず受傷直後は正常な組織まで炎症が波及しないような処置が必要です。

Rest 安静・Ice 冷却・Compression 圧迫・Elevation 拳上 (略してRICE) を1〜2時間徹底して行い、損傷部位のみに炎症がとどまるようにします。

その後は新たな組織障害を作らないように「安静」を実践します。安静とはできるだけ痛くないように動くということです。

次に大切なことは、ある程度痛みが取れたら薬はやめた方が早く治ります。薬は血流を阻害するので、治癒作用である炎症が阻害されるからです。損傷の程度にもよりますが、通常は2〜4週で組織は修復され炎症も収まり痛みもなくなります。

しかしいつまでたっても痛みが取れない場合は、慢性炎症に移行してしまつた可能性があります。



リハビリ★豆★知識

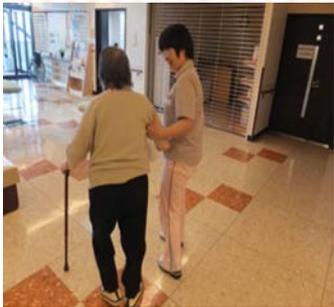
前回に引き続き、リハビリ部の紹介です。職員は理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士2名、以上6名で構成されており、介護部や看護部など他部門と連携を図りながら、在宅生活を目指したり、施設で元気に生活ができるように利用者様と関わっています。

作業療法士

作業療法では手芸などの作業活動やレクリエーション、体操などを通して活動的な生活を送られるように関わります。トイレ動作などの日常生活動作の練習をします。

理学療法士

理学療法では歩行訓練など生活の基本となる動作の訓練を行います。体の痛みとの軽減や筋力増強の運動も実施します。



アンダンテ (新年のご報告)

新年会

一月六日新年会を開催致しました。皆様には絵馬に今年の抱負をそれぞれ書いていただき、会場に飾らせていただきました。

「健康で元気に、明るく」と書かれていた方がほとんどでしたが、「300万円貯める!」と書かれていた方の絵馬がとても印象的でした。

帯広神社のおみくじを引いて頂き、大吉や吉など様々な結果になっていました。中でも、大吉を出した時の満面の笑み! みなさん、とってもいい顔をされています。

今年も良いことがたくさんありますように☆



行事のお知らせ

【節分】

●二月三日(月)

☆アンダンテ恒例! 節分の豆まきをします! 今年はどんな鬼がやってくるでしょうか! 元気よく今年の厄を祓きましょう!

【ひな祭り】

●三月三日(月)

☆今年も美男美女のお雛様とお内裏様に変身? しますよ! 皆様の笑顔と一緒に写真を撮りましょう!



編集後記

昨年は2020年の東京五輪招致が決まりましたね! 「おもてなし」が流行語にもなりました! アンダンテも、利用者様、ご家族様、地域の皆様皆様におもてなしの心と繋がりを大切に、職員一同業務に努めさせていただきますので今年もどうぞよろしくお願いたします。

《広報委員会》